

生涯学習は、すべての人々がより豊かな人生を送ることができるよう、個人の自発的意思に基づいて行うことを基本として、生涯を通じて行うものです。

近年の社会の大きな変化の中で、市民一人ひとりが、それぞれの希望に応じて夢や好奇心を持って自発的に学び活動する生涯学習は、幸福を実感できる豊かな暮らしの実現のために重要となっています。

そこで、このたび「浜松市生涯学習推進大綱」を改定し、市民の皆さんが生涯学習に取り組む際の新たな指針としてお示するとともに、この大綱を基に、市民の皆さんの幸福度の向上に向け、施策を進めてまいります。

1. 浜松市生涯学習推進大綱の目指す姿

学びを通して市民一人ひとりの幸福度が向上するまち・浜松
～人や地域とのつながりの中で、豊かさと安心感を得られるまち～

生涯学習に取り組むことは、個人の幸福度だけでなく、共に学ぶ仲間同士の幸福度の向上にも寄与します。そして、広がったつながりが地域社会全体を支えることで安心感が生まれ、それがさらに個人の幸福度を向上させます。

浜松市は、生涯学習の推進により、市民一人ひとりの幸福度の向上を目指します。

2. 基本的な方向性

目指す姿の実現に向けて2つの方向性を定め、施策を推進していきます。

I いつでも、だれでも、希望に応じて学ぶことができる環境づくり

① 学習情報の提供

- 様々な情報媒体の活用や関係部署との協力、県や市民団体、NPOなどとの連携により、情報提供の充実に努めます。
- 協働センターなどの担当者が適切な情報提供やアドバイスを行えるよう、対応力の向上を図ります。



② 学習機会の充実

- 市民一人ひとりの「自己啓発と生活向上のための学習」と「地域づくりに貢献する学習」の機会の充実に努めます。
- 特に関心の高い健康分野や情報活用については、内容の充実に図ります。
- 市内の大学や放送大学などと連携し、学び直しの機会を拡充します。

③学習環境の向上

- 専門性が高く、地域の教育力向上に重要な役割を担っている図書館や博物館・美術館、浜松科学館の学習の場としての役割をさらに充実させます。
- 協働センターなどの学習拠点については、地域要望に応じた生涯学習講座や自主事業の開催を進めるとともに、地域内の各団体の連携強化を図ります。
- 老朽化した施設については、耐震性の向上やユニバーサルデザイン化を推進し、誰もが安心して利用できる環境を整備するとともに、計画的な改修により長寿命化を図り、既存施設の有効活用を進めます。



Ⅱ 学びを生かし、発展させることができる仕組みづくり

①参加・活動の場の拡大

○人材発掘、人材登録体制の整備

- 自治会、ボランティア団体、NPO、企業等と連携し、地域の人材を発掘します。
- 知識や技能を持つ人と、それを求める人を結びつける人材登録制度を整備します。

○学習成果を発揮する機会や場づくりと啓発活動

- 学びを適切に生かすことができるよう、地域の学習拠点等で市民が講師や指導者として活躍する場を設けます。
- 高齢者や団塊世代の知識・経験を次世代に伝える機会を創出することで、生きがいや地域のつながりづくりにつなげていきます。
- 学習成果を発揮することの意義について啓発活動を行い、地域の理解と協力を得られるよう努めます。

○地域づくりの意識の醸成

- 学習者同士の交流や情報交換の機会を設け、コミュニティの形成を促進します。また、地域社会の活動への参加意識を高めることで、コミュニティの再生を目指します。



②人材の育成

- スポーツや環境など、様々な分野でリーダーを養成するとともに、リーダーの活躍できる場を提供していきます。
- 多様なボランティアを養成する事業を実施するとともに、活動の場を提供していきます。

詳しくはこちら

浜松市生涯学習推進大綱



発行：浜松市市民部創造都市・文化振興課

〒430-8652 浜松市中央区元城町 103-2 TEL：053-457-2413

E-mail：shogaigk@city.hamamatsu.shizuoka.jp